



# 竜中だより

校訓 自律 協力 創造 勤勉

NO. 12

令和6年2月27日発行



学校ホームページ



<http://ryuyo-j.city-iwata.ed.jp/>

## 学府バザー「みんなのマルシェ」

2月23日（金）、学府バザー「みんなのマルシェ」が開催されました。

当日は、あいにくの雨。中庭は使えなかったため、多目的ホールのみが会場となりました。会場では、バザー用品や野菜の販売だけでなく、クラフト体験会、バルーンアート実演会などの催し物もありました。また、竜洋中学弦楽部と吹奏楽部のミニコンサートでは、会場が優雅で贅沢な雰囲気に包まれました。ご協力くださった皆様、ありがとうございました。収益は、学府内小中学校の教育充実のために使わせていただきます。



## 第7回竜洋住みよいまちづくり推進大会

2月25日（日）、竜洋交流センターにて、第7回竜洋住みよいまちづくり推進大会が開催されました。竜洋中からは、善行賞（ボランティア活動）で18名、特別賞（大会等の顕著な実績）で弦楽部と柔道の山崎さん（3年）が受賞。SDGs研究活動の発表では「貧困の人々を助けるために考える」というテーマで中村さんと藁科さん（ともに3年）が立派な発表をしました。運営のボランティアには生徒会メンバーの5名が参加。来場者の案内や表彰補助の役割を果たし、閉会后には会場に残り、最後まで片付けを手伝いました。



第

## 会礼 校長のお話（2月21日）

今日、2月21日は「国際母語デー」です。

「母語」というのは、その人が幼児期に最初に習得し、最も自由に使える言語のことです。母国語という言い方もします。私は日本で生まれ育ち、両親が日本語を話す中で自然と日本語が身につきましたから、私の母語は「日本語」です。生徒の皆さんの中にはブラジルの方が使う「ポルトガル語」やフィリピンの方が使う「タガログ語」が母語という人もいます。

「国際母語デー」は、ユネスコが制定した国際デーのひとつで、言語と文化の多様性、多言語の使用、あらゆる母語の尊重の推進を目的としています。

2月21日が「国際母語デー」になった理由を調べてみました。1952年2月21日、現在のバングラデシュという国のダッカというところで、そこに住む人たちが話していた「ベンガル語」という言葉を公用語にすることを求めたデモが行われたそうです。その際、警官隊がデモに参加した人に対して発砲し、死者が出てしまったという事件がありました。この事件をきっかけに世界で母語について考えるようになり、1999年のユネスコ総会で「国際母語デー」が認定されたのだそうです。ユネスコでは、平和の実現するためには、他者への敬意や寛容を育むことが必要であると考え、文化や言語の多様性を保護することに取り組んでいます。世界には様々な言葉や文化があり、世界の伝統的な言葉や文化を、持続可能な方法で伝えたり、守ったりしていくことが大切だと考えているのです。

また、世界では多くの言語が失われていく危機にあるとされています。現在、世界では2億5,000万人の児童、若者がいまだ学校に通っておらず、7億6,300万人もの大人が基本的な読み書き能力を身に付けていないとされています。このような現状は、多くの人たちが読み書きや学習ができないというだけでなく、言葉そのものが消滅してしまうという危険性があるのです。

私たちが使っている言葉は「日本語」というふうに皆さんは認識していることでしょう。そして「日本語」が消滅してしまうということは考えられないでしょう。しかし、日本の言語の中には、消滅の危機にあるものがあるのです。それは「アイヌ語」と「沖縄語」です。

「アイヌ語」は北海道に住んでいた人たちが使っていた言葉です。「札幌（サッポロ）」や「小樽（オタル）」などの地名はアイヌ語が語源となっているものに漢字をあてはめているのです。「沖縄語」は沖縄本島やその周辺の島々に住んでいる人たちが使っていた言葉です。沖縄はかつて「琉球王国」として独立していた時代があり、独自の文化が栄えたのです。ユネスコが2009年に発表した「消滅の危機にある世界の言語地図」では、アイヌ語は「極めて深刻」、沖縄語は「危険」となっているそうです。

竜洋中学校にはブラジル、フィリピン、中国などの様々な国籍の生徒がいます。個別に日本語の指導を受けることで、日本の生活や学習に困らないように努力している人たちもいます。また授業中に日本語の支援を受けながら学習している人たちもいます。私はこの人たちが日本語を学ぶことはとても大切なことだと思っていますが、同時に母語も大切にしたいと思っています。それは言葉とともに、その国の歴史や文化を大切にすることにつながるからです。また、日本人の生徒の皆さんにも外国の言葉や文化、歴史に興味をもち、大切にしたいと思っています。

